

オイルクーラーキット

取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別オイルクーラーキット
用 途	自動車エンジン専用オイル冷却部品
コ ー ド No.	15004-AN003
取付説明書品番	E04261-N48034-00 Ver. 3-3.05
整 備 要 領 書	A006020、A006021、A260W02
メ ー カ ー 車 種	日産 スカイライン GT-R BNR32
エ ン ジ ン 型 式	RB26DETT
年 式	1989/8～1994/12
備 考	・エアクリーナダクト・レゾネータは使用できません。 ・純正オイルフィルターは再使用できません。 ・オイルフィルター交換時には、HKS オイルフィルター タイプ7を使用してください。 ・新品のエンジンオイル(4.6L プラス 0.5L～1.0L)が必要です。

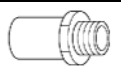
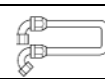
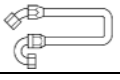
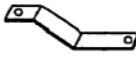
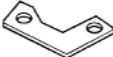
※適合車両の年式は、2020 年 7 月現在のものです。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2004/12	初版
3-3.02	2005/03	パーツリスト変更
3-3.03	2006/12	パーツリスト変更、記載方法変更
3-3.04	2007/12	備考欄追記、記載方法変更
3-3.05	2020/07	パーツリスト変更

2020 年 7 月 30 日発行（禁無断複写、転載）(株)エッチ・ケー・エス

パーツリスト

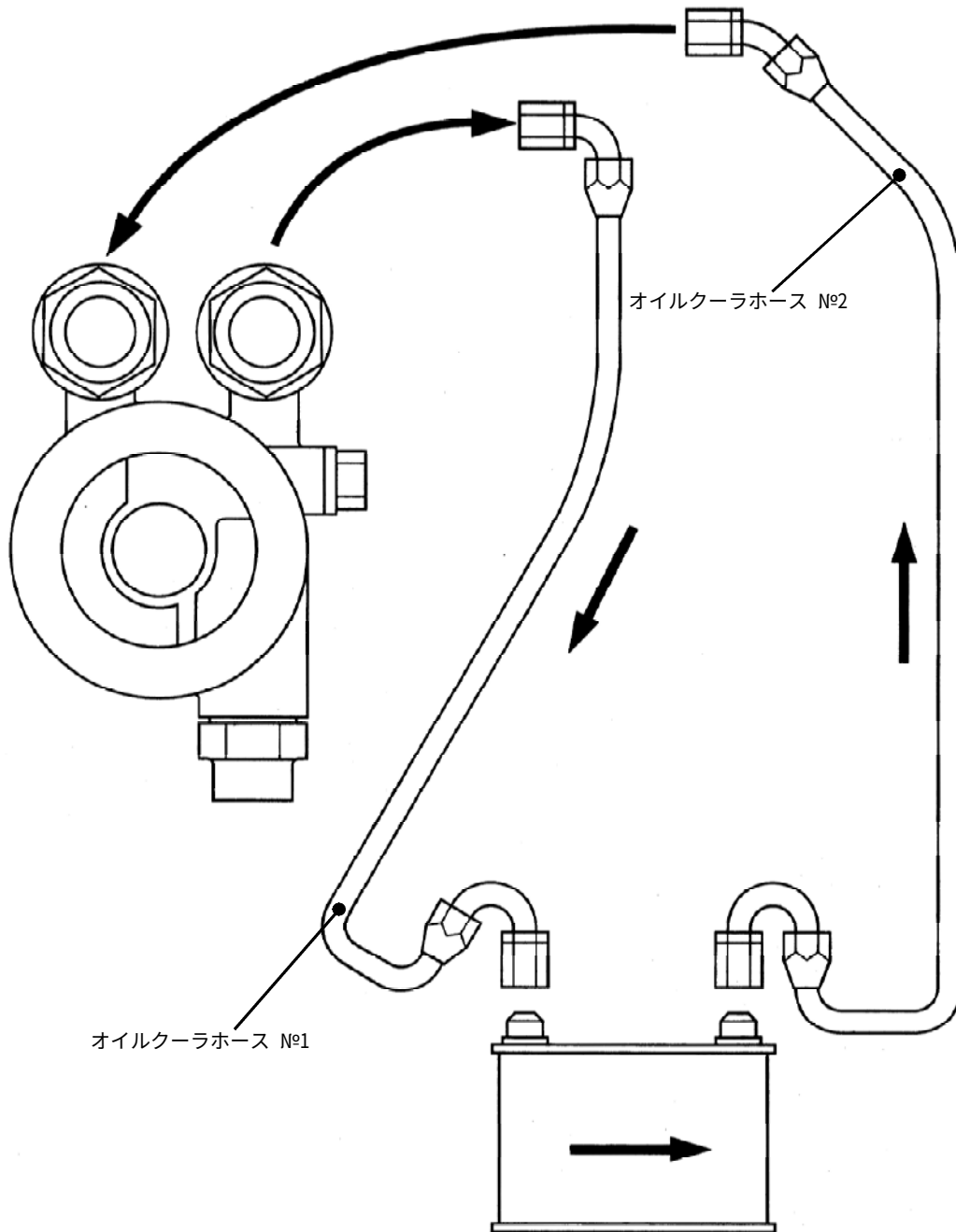
連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
1	15006-AK005	オイルクーラコア	1		#12
2	2599-SA038	アタッチメントAssy	1		#12
3	2599-SA009	スモールエアロアタッチメントボルト A	1		
4	G15750-K00220-00	オイルクーラホース №1	1		90° -130cm-150°
5	G15750-K00230-00	オイルクーラホース №2	1		45° -150cm-180°
6	15721-1092590A	オイルクーラステー №1	1		
7	15721-110259AA	オイルクーラステー №2	1		
8	15721-1112590A	オイルクーラステー №3	1		
9	15620-016132	Oリング φ60	1		JASO 3060
1 0	15719-015259AB	オイルクーラエアガイド №1	1		
1 1	15719-0162590A	オイルクーラエアガイド №2	1		
1 2	G15731-N48020-00	オイルクーラエアガイド №3	1		
1 3	15721-121259	エアガイドステー №1	1		
1 4	15721-122259A0	エアガイドステー №2	1		
1 5	90113-017100	サポートクランプ	4		#12
1 6		ボルトM6 L=15	4		P=1.0
1 7		ボルトM6 L=20	2		P=1.0
1 8		ボルトM6 L=25	2		P=1.0
1 9		スプリングワッシャM6用	8		
2 0		プレーンワッシャM6用	6		
2 1		プレーンワッシャM6用 大径	2		
2 2		フランジ付きナットM6	7		P=1.0

パーツリスト

連番	コード№	品名	数量	形状	備考
2 3		ボタンボルトM4	4		
2 4		プレーンワッシャM4用	8		
2 5		ナットM4	4		
2 6	52009-AK011	オイルフィルタ	1		
2 7	15719-076100	スパイラルチューブ	1		2m×1
2 8	15719-037100	スポンジシート	2		
2 9		タイラップ（中）	8		
3 0	E04261-N48034-00	取付説明書	1		
3 1	93050-002100TP	取扱説明書	1		

概要図

矢印はオイルの流れを示しています。

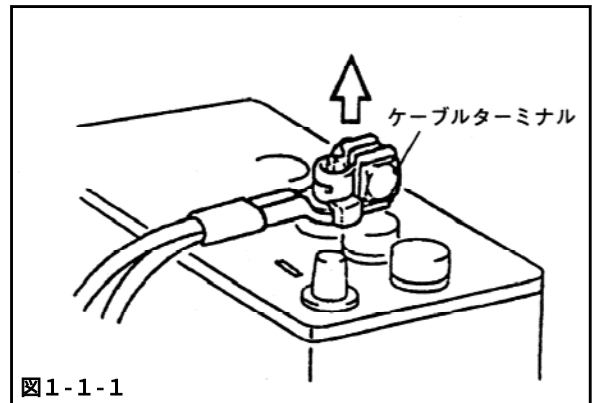


1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイルを準備してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。

1-1. ケーブルターミナルの取外し

- (1) バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外してください。(図1-1-1)



1-2. アンダカバーの取外し

- (1) ボルト(13本)を取外し、アンダカバーを取外してください。

1-3. オイルの抜取り

- (1) オイルパンからオールドレンプラグを取外し、オイルを抜いてください。(図1-3-1)



注意

- エンジン停止直後は作業をしないでください。
温度が高い状態で作業を行なうと火傷を負う恐れがあります。



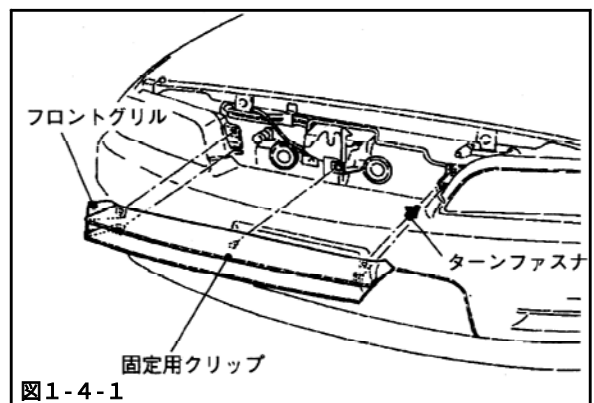
- (2) オイル抜きが終了したら、ドレンプラグを取付けてください。

締付けトルク (N・m)

T=29.4~39.2(3.0~4.0kgf・m)

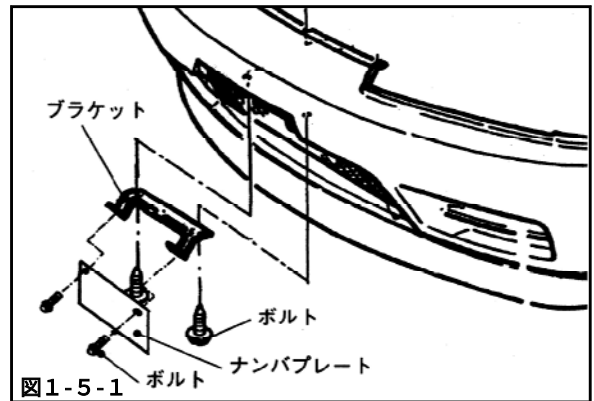
1-4. フロントグリルの取外し

- (1) 固定用クリップとターンファスナ(4個)を取外し、フロントグリルを取外してください。(図1-4-1)



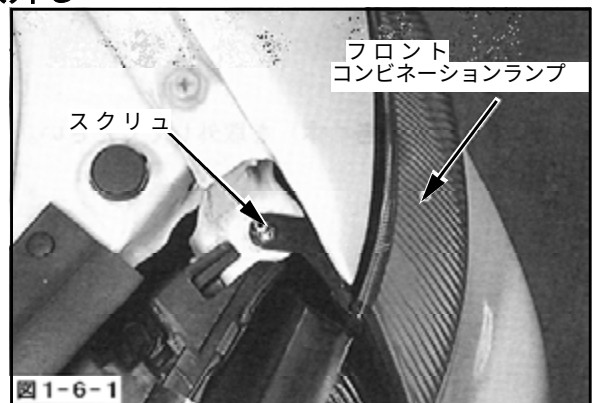
1-5. ナンバプレートの取外し

- (1) ボルト(2本)を取外し、ナンバプレートをブラケットから取外してください。(図1-5-1)
- (2) ボルト(2本)を取外し、ブラケットを取外してください。(図1-5-1)



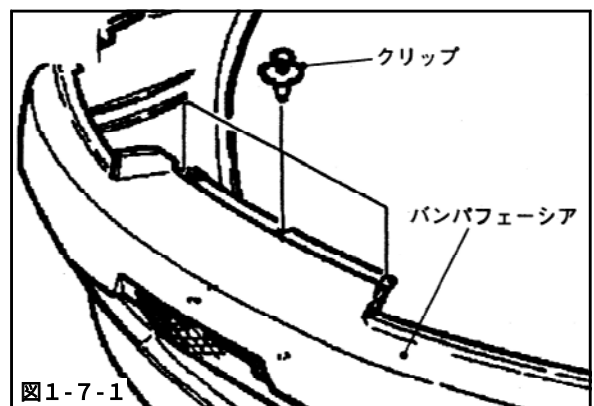
1-6. フロントコンビネーションランプの取外し

- (1) スクリュ(左右各1個)を取外してください。(図1-6-1)
- (2) コネクタを取外し、フロントコンビネーションランプを取外してください。(図1-6-1)

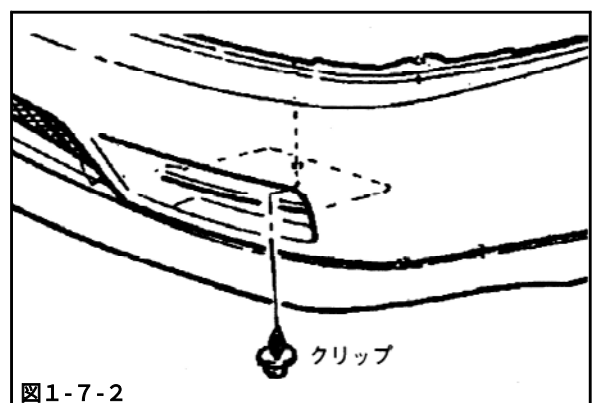


1-7. バンパフェーシアの取外し

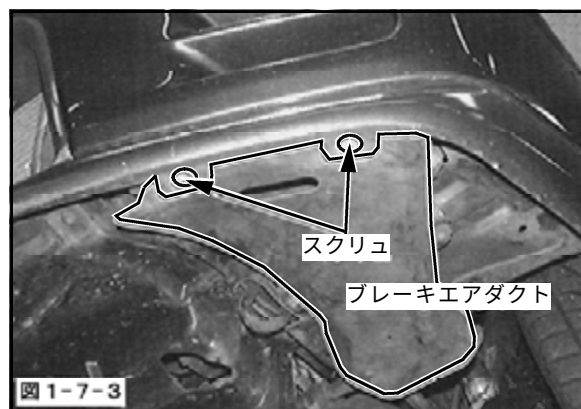
- (1) バンパフェーシアを固定しているクリップ(3本)を取外してください。(図1-7-1)



- (2) エアダクト内のクリップ(左右各1個)を取外してください。(図1-7-2)

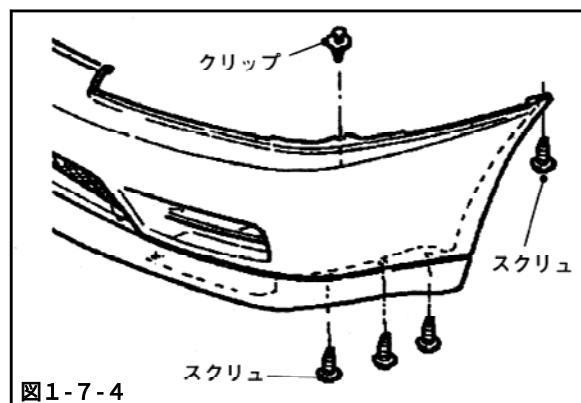


- (3) フロントスポイラとブレーキエアダクトを固定しているスクリュ(左右各2本)を取外してください。
(図1-7-3)

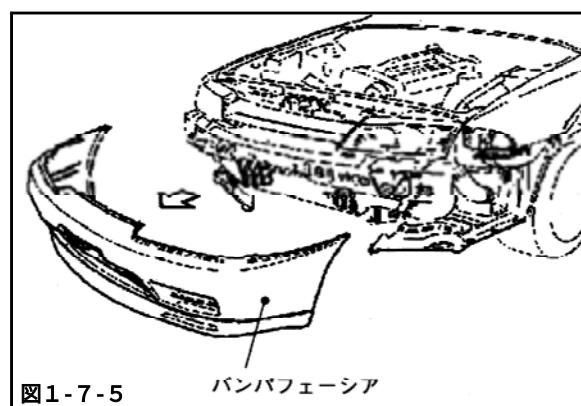


- (4) スクリュ(左右各4本)を取外してください。(図1-7-4)

- (5) クリップ(左右各1本)を取外してください。(図1-7-4)

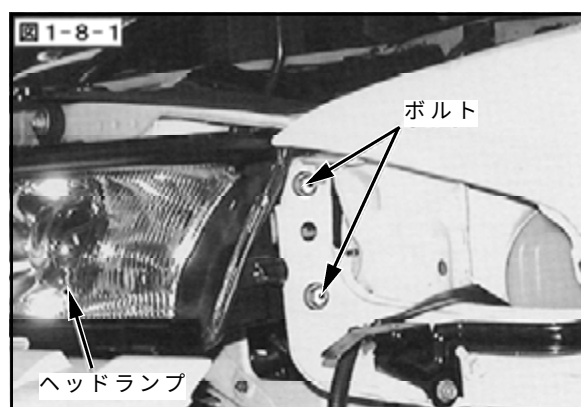


- (6) 車両からバンパフェーシアを取外してください。
(図1-7-5)

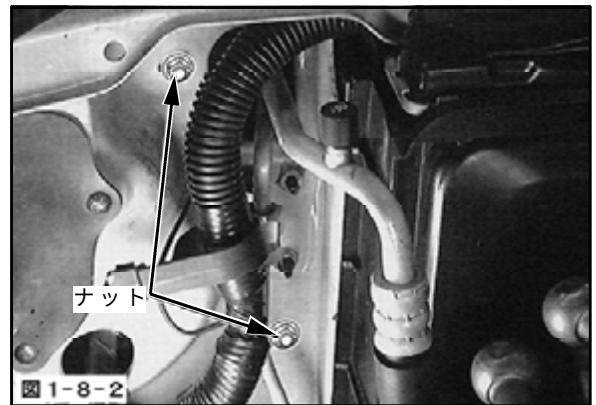


1-8. ヘッドランプの取外し

- (1) ボルト(左右各2本)を取外してください。(図1-8-1)



- (2) ナット(左右各2個)を取外してください。(図1-8-2)
- (3) コネクタを取外しヘッドランプ(左右)を取外してください。(図1-8-1)



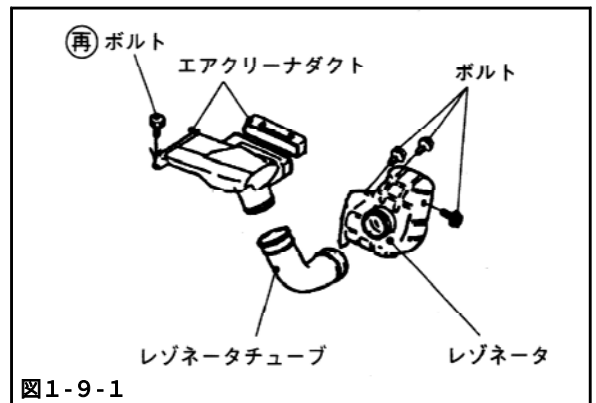
1-9. レゾネータの取外し

- (1) ボルト(1本)を取外し、エアクリーナダクトを取外してください。(図1-9-1)

アドバイス

- ・ボルトは再使用します。

- (2) ボルト(3本)を取外し、レゾネータを取外してください。(図1-9-1)

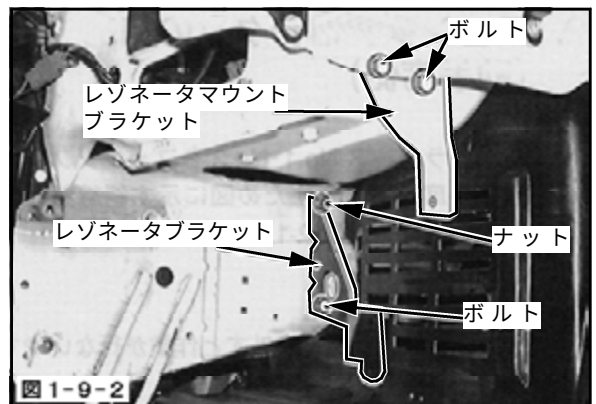


- (3) ボルト(2本)を取外し、レゾネータマウントブラケットを取外してください。(図1-9-2)

- (4) ボルト(1本), ナット(1個)を取外し、レゾネータブラケットを取外してください。(図1-9-2)
(図1-9-2では見やすくするためにインタークラインレットホース, リサーキュレーションチューブ等を取外してあります。)

アドバイス

- ・エアダクト, レゾネータチューブ, レゾネータ, レゾネータマウントブラケット, レゾネータブラケットは再使用しません。)

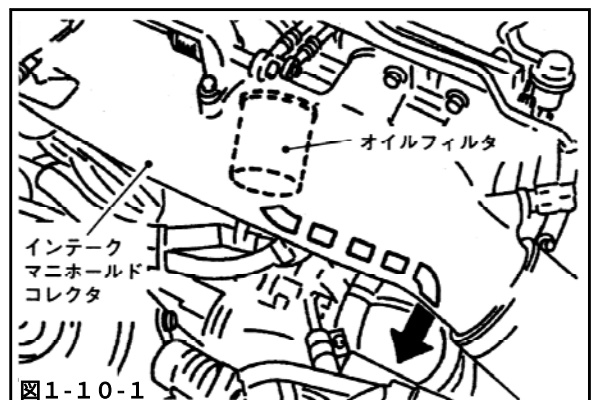


1-10. オイルフィルタの取外し

- (1) オイルフィルタを取外してください。(図1-10-1)

アドバイス

- ・取外したときオイルがこぼれるのでウエス等で受取ってください。



1-11. その他キットパーツ取付けの準備

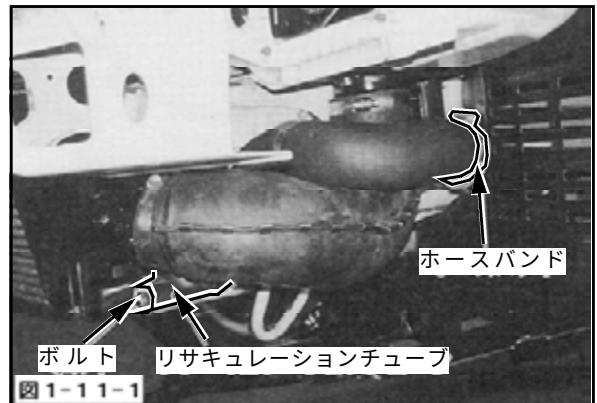
オイルクーラスター№3を取付けるため次の作業を行ない、リサーキュレーションチューブが上下に動くようにしてください。

- (1) リサーキュレーションチューブを固定しているボルト(1本)を取外してください。(図1-11-1)

アドバイス

- ・ボルトは再使用します。

- (2) エアホースを固定しているホースバンドを緩めてください。(図1-11-1)



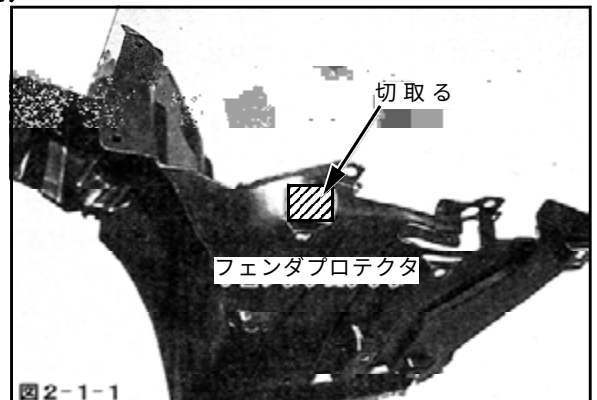
2. ノーマルパーツ加工

2-1. フェンダプロテクタの加工 (助手席側)

- (1) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2をフェンダプロテクタ内(助手席側)に通すため図に示す斜線部分を切取ってください。(図2-1-1)

アドバイス

- ・フェンダプロテクタを取外すと作業が行ないやすくなります。



- (2) オイルクーラの冷却性能を向上させるため図を参考にしてフェンダプロテクタに格子状に穴をあけてください。(図2-1-2)

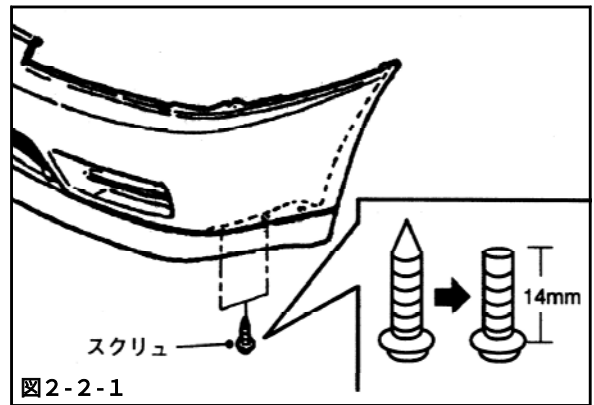


2-2. スクリュの加工

- (1) 1-7.(4)で取外したスクリュのうち図に示す2本のスクリュの先端を削り、ネジ部長さが14mmになるように加工してください。(図2-2-1)

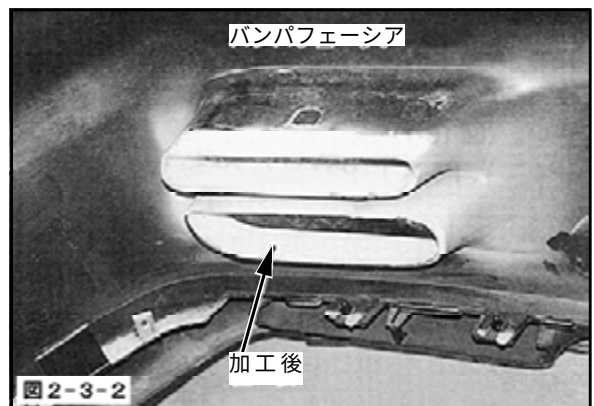
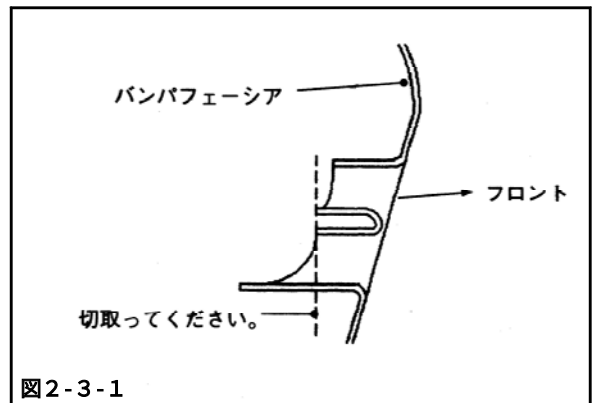
アドバイス

- ・取付けの際には同じ位置に取付けてください。



2-3. バンパフェーシアの加工

- (1) オイルクーラコアと干渉しないようにバンパフェーシアを図のように切取ってください。(図2-3-1、図2-3-2)



3. キットパーツ取付け

3-1. アタッチメントAssyの取付け

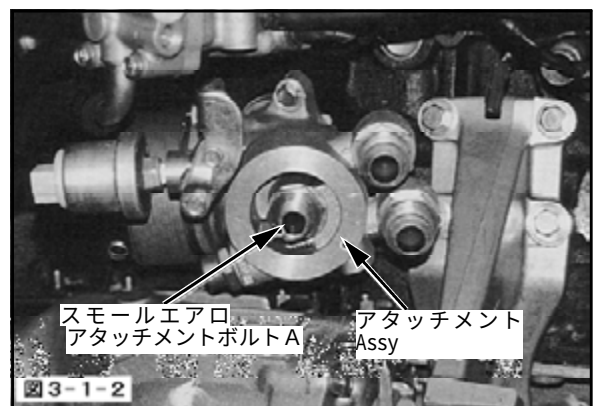
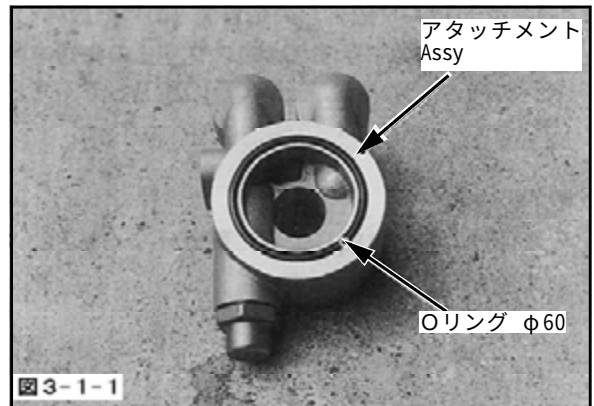
- (1) アタッチメントAssyに付着したほこり等をきれいに拭取ってください。
 - ・アタッチメントAssy (P2×1)
- (2) Oリングφ60の全周にエンジンオイルを塗布してください。
 - ・Oリングφ60 (P9×1)
- (3) アタッチメントAssyにOリングφ60を取付けてください。
 - ・Oリングφ60 (P9)(3-1.(2)でエンジンオイルを塗付したもの)
- (4) オイルフィルタブラケットに付着したほこり等をきれいに拭取ってください。
- (5) アタッチメントAssyを取付けてください。(図3-1-1)
 - ・スモールエアロアタッチメントボルトA (P3×1)
 - ・アタッチメントAssy (P2)(3-1.(3)でOリングを取付けたもの)

締付けトルク (N・m)

T=29.4~34.3(3.5~4.0kgf・m)

アドバイス

- ・バッテリーを取外すと作業が行いやすくなります。

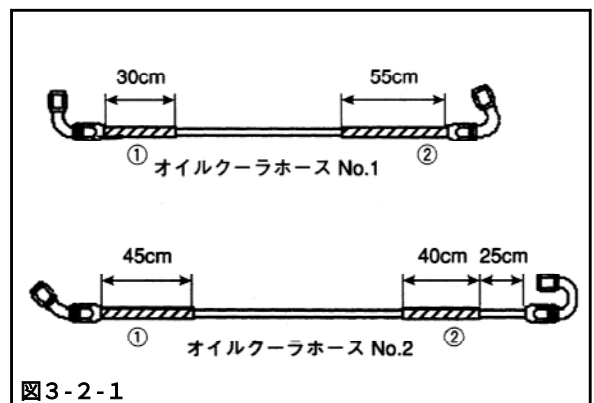


3-2. オイルクーラホースの取付け (1)

- (1) ボディ及びオイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2を保護するため、スパイラルチューブをオイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2に巻付け、タイラップ(中)で固定してください。(図3-2-1)
 - ・オイルクーラホース№1 (P4×1)
 - ・オイルクーラホース№2 (P5×1)
 - ・スパイラルチューブ (P27×1)
 - ・タイラップ(中) (P29)

アドバイス

- ・スパイラルチューブを巻き付ける長さは図を参考にしてください。(図3-2-1)
- ・図中の①の部分はオイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2がオルタネータに直接接触しないように取付けてください。
- ・図中の②の部分は2-1.(1)で切取ったフェンダプロテクタ部分及びアンダカバーと干渉する部分に取付けてください。



- (2) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2の内部をエアガンで吹き、ホース内部に異物がないことを確認してください。

⚠ 注意

- オイルクーラホースに異物が入るとエンジン破損の原因になります。

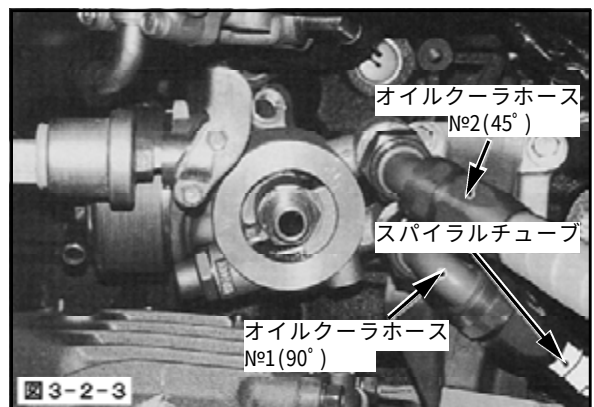
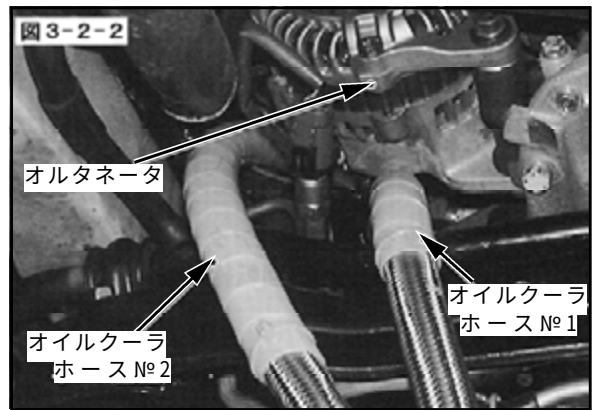
- (3) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2をエンジンルーム内に通してください。(図3-2-2)

- ・ オイルクーラホース№1 (P4)
(3-2.(1)でスパイラルチューブを巻付けたもの)
- ・ オイルクーラホース№2 (P5)
(3-2.(1)でスパイラルチューブを巻付けたもの)

- (4) アタッチメントAssyにオイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2を取付けてください。(図3-2-3)

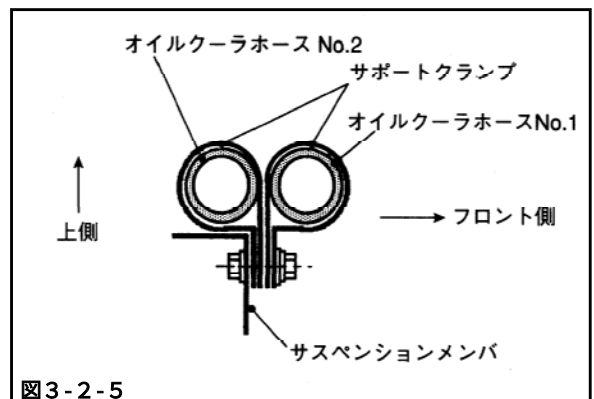
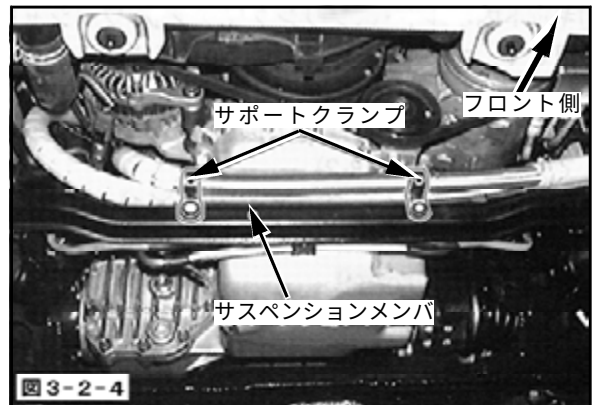
締付けトルク (N・m)

T=34.3~39.2(3.5~4.0kgf・m)



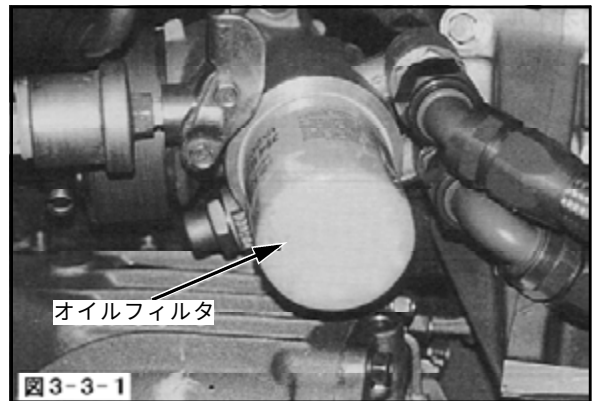
- (5) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2をサスペンションメンバに仮止めしてください。(図3-2-3, 図3-2-4)

- ・ サポートクランプ (P15×4)
- ・ ボルトM6 L=25 (P18×2)
- ・ スプリングワッシャM6用 (P19×2)
- ・ プレーンワッシャM6用 大径 (P21×2)
- ・ フランジ付きナットM6 (P22×2)
- ・ オイルクーラホース№1 (P4)
(3-2.(4)でアタッチメントAssyに取付けたもの)
- ・ オイルクーラホース№2 (P5)
(3-2.(4)でアタッチメントAssyに取付けたもの)



3-3. オイルフィルタの取付け

- (1) アタッチメントAssy取付け面のほこり等をきれいに拭取ってください。
- (2) オイルフィルタのオイルシール部分にエンジンオイルを塗布してください。
 - ・オイルフィルタ (P26×1)
- (3) オイルフィルタをねじ込み、アタッチメントAssyに当たってから2/3回転締付けてください。(図3-3-1)

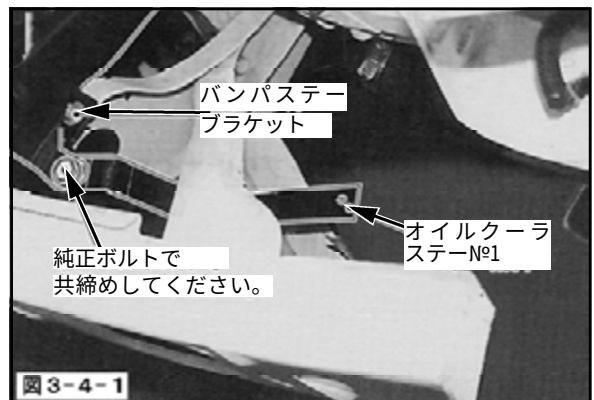


3-4. オイルクーラスターの取付け

- (1) オイルクーラスター№1をバンパステーブラケットに取付けてください。(図3-4-1)
 - ・オイルクーラスター№1 (P6×1)
 - ・ボルト (純正) (1-9. (2) で取外したもの)

締付けトルク (N・m)

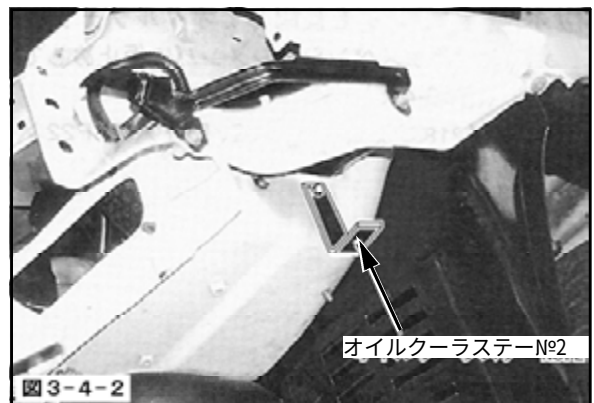
T=4.9~6.7(0.5~0.7kgf・m)



- (2) オイルクーラスター№2を1-9. (3) で取外したレゾネータマウントブラケットの取付けボルト穴用リア側に取付けてください。(図3-4-2)
 - ・オイルクーラスター№2 (P7×1)
 - ・ボルトM6 L=15 (P16×1)
 - ・スプリングワッシャM6用 (P19×1)
 - ・プレーンワッシャM6用 (P20×1)

締付けトルク (N・m)

T=4.9~0.7(0.5~0.7kgf・m)



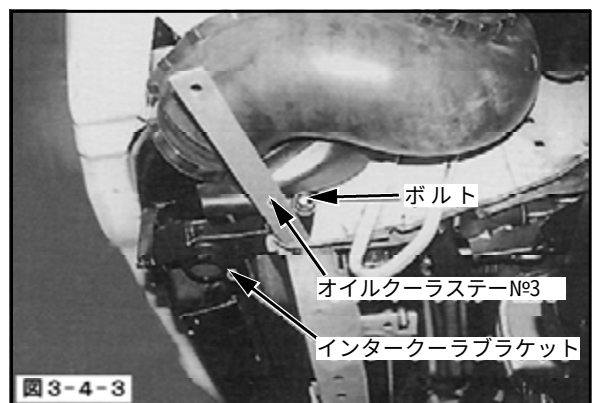
- (3) インタークーラブラケットの取付けボルトでオイルクーラスター№3を共締めしてください。(図3-4-3)
 - ・オイルクーラスター№3 (P8×1)

締付けトルク (N・m)

T=6.28~8.34(0.64~0.85kgf・m)

アドバイス

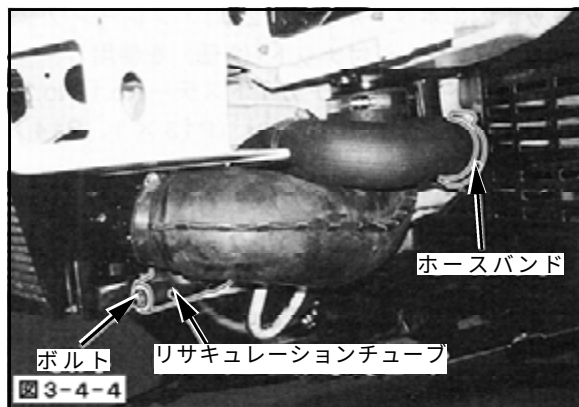
- ・HKSインタークーラキットを取付けてある車両は、インタークーラスター№2を固定しているボルトで共締めしてください。



(4) 1-11.(1), 1-11.(2)で取外したボルトを取付け、緩めたホースバンドを締めリサーキュレーションチューブを固定してください。(図3-4-4)

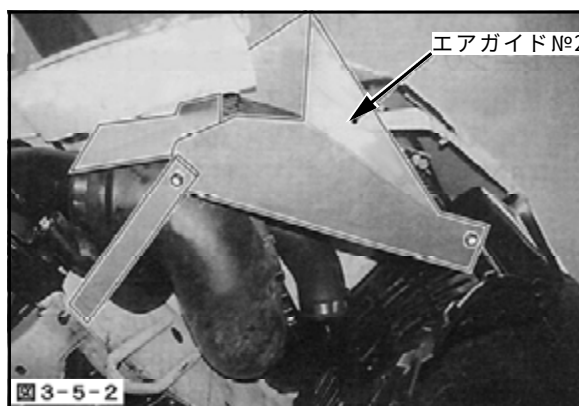
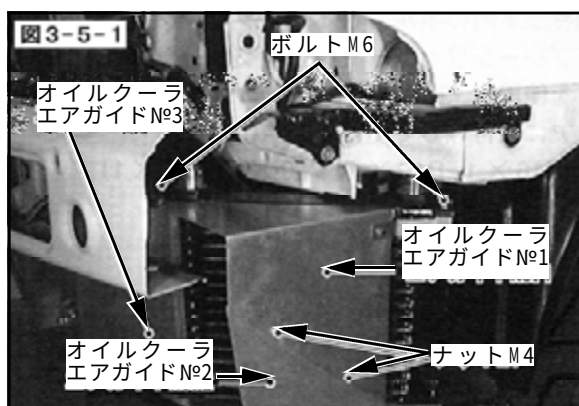
締付けトルク (N・m)

T=8.8~11.8(0.9~1.2kgf・m) (ボルト)



3-5. オイルクーラコア、エアダクトの取付け

オイルクーラコア, オイルクーラエアガイドの取付けは、各パーツを仮付けし、位置出しを行った後、本締めを行なってください。(図3-5-1、図3-5-2)



- (1) オイルクーラエアガイド№1, オイルクーラエアガイド№2を組立ててください。ボタンボルトM4はオイルクーラエアガイド内側から取付けてください。

(図3-5-3)

- ・オイルクーラエアガイド№1 (P10×1)
- ・オイルクーラエアガイド№2 (P11×1)
- ・ボタンボルトM4 (P23×2)
- ・プレーンワッシャM4用 (P24×4)
- ・ナットM4 (P25×2)

締付けトルク (N・m)

ボタンボルトM4, ナットM4
T=2.0(0.2kgf・m)

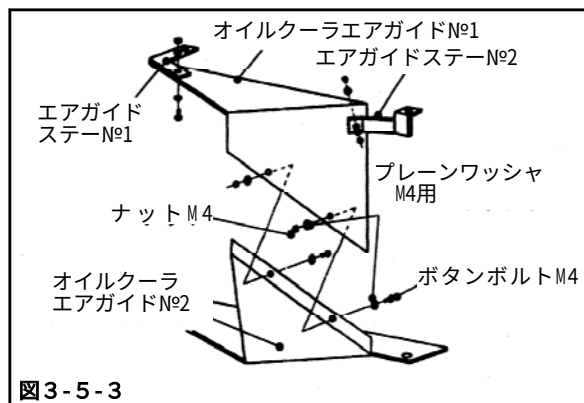


図3-5-3

- (2) オイルクーラエアガイド№1にエアガイドステー№1, エアガイドステー№2を取付けてください。

(図3-5-3)

- ・エアガイドステー№1 (P13×1)
- ・エアガイドステー№2 (P14×1)
- ・ボタンボルトM4 (P23×2)
- ・プレーンワッシャM4用 (P24×4)
- ・ナットM4 (P25×2)

- (3) 3-5. (1)で組立てたオイルクーラエアガイドをオイルクーラコアに被せ、オイルクーラエアガイド, エアガイドステーの位置出しを行ない、ボタンボルトM4を固定してください。

- ・オイルクーラコア (P1×1)
- ・オイルクーラエアガイド (3-1. (1)で、オイルクーラエアガイド№1と№2を組立てたもの)

締付けトルク (N・m)

ボタンボルトM4, ナットM4
T=2.0(0.2kgf・m)

- (4) 3-5. (3)でオイルクーラコアに被せたオイルクーラエアガイドをオイルクーラコアに仮付けしてください。

(図3-5-4)

- ・ボルトM6 L=15 (P16×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P19×1)
- ・プレーンワッシャM6用 (P20×1)
- ・フランジ付きナットM6 (P22×1)
- ・オイルクーラエアガイド (3-5. (3)でオイルクーラコアに被せたもの)

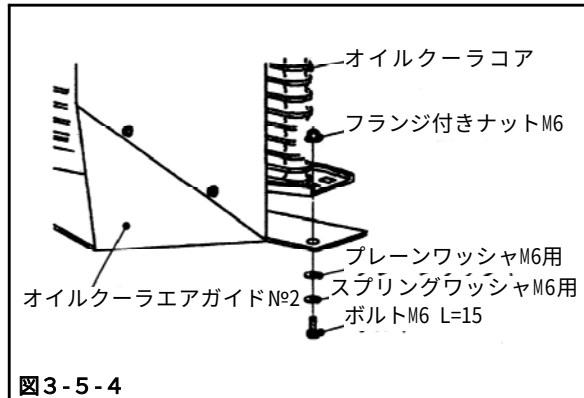


図3-5-4

(5) エアガイドステー№2をオイルクーラコアに仮付けしてください。(図3-5-5)

- ・ボルトM6 L=15 (P16×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P19×1)
- ・プレーンワッシャM6用 (P20×1)
- ・フランジ付きナットM6 (P22×1)
- ・エアガイドステー№2 (P14)

(3-5.(2)でオイルクーラエアガイド№1に取付けたもの)

(6) オイルクーラコアをオイルクーラステー№2に仮付けしてください。(図3-5-5)

- ・ボルトM6 L=15 (P16×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P19×1)
- ・プレーンワッシャM6用 (P20×1)
- ・フランジ付きナットM6 (P22×1)
- ・オイルクーラコア (P1)

(3-5.(5)でエアガイドステー№2を仮付けしたもの)

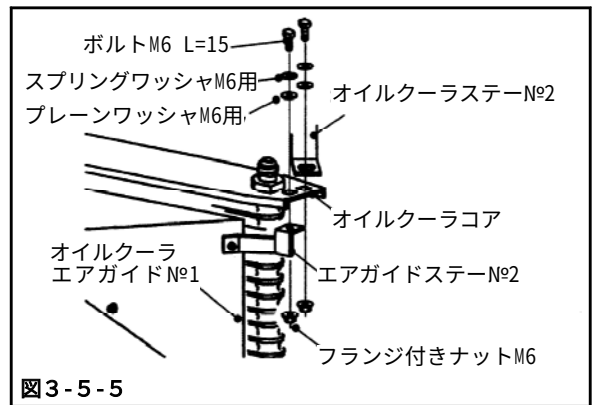


図3-5-5

(7) オイルクーラコア,エアガイドステー№1,オイルクーラエアガイド№3をオイルクーラステー№1に仮付けしてください。(図3-5-6)

- ・オイルクーラエアガイド№3 (P12×1)
- ・ボルトM6 L=20 (P17×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P19×1)
- ・プレーンワッシャM6用 (P20×1)
- ・フランジ付きナットM6 (P22×1)
- ・オイルクーラコア (P1)

(3-5.(6)でオイルクーラステー№2に仮付けしたもの)

- ・エアガイドステー№1 (P13)

(3-5.(1)でオイルクーラエアガイド№1へ取付けたもの)

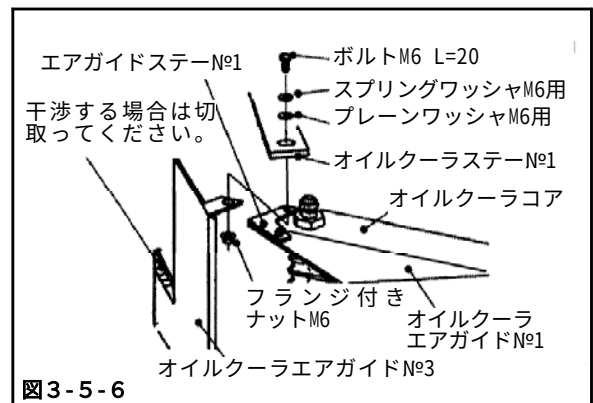


図3-5-6

(8) オイルクーラエアガイド№3,オイルクーラコア,オイルクーラエアガイド№2をオイルクーラステー№3に仮付けしてください。(図3-5-7)

- ・ボルトM6 L=20 (P17×1)
- ・スプリングワッシャM6用 (P19×1)
- ・プレーンワッシャM6用 (P20×1)
- ・フランジ付きナットM6 (P22×1)
- ・オイルクーラコア (P1)

(3-5.(7)でオイルクーラステー№1に仮付けしたもの)

- ・オイルクーラエアガイド№2 (P11)

(3-5.(1)で組立てたもの)

- ・オイルクーラエアガイド№3 (P12)

(3-5.(7)でオイルクーラステー№1に仮付けしたもの)

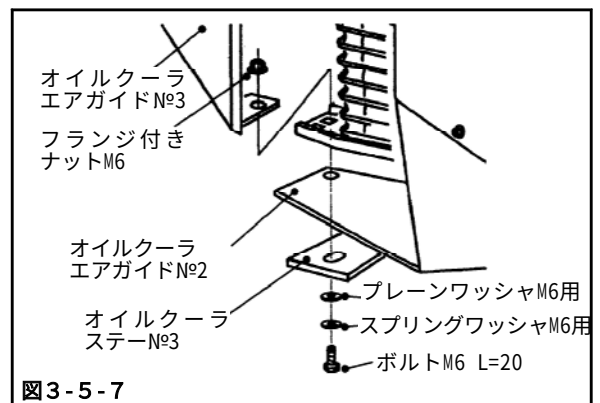


図3-5-7

(9) 各ボルト,ナットの本締めを行なってください。

締め付けトルク (N・m)

ボルトM6,ナットM6

T=4.9~6.9(0.5~0.7kgf・m)

アドバイス

※車両の個体差によりオイルクーラエアガイド№3がパンパレインフォースに干渉する場合は、図の斜線部分を干渉しないように切取ってください。(図3-5-6)

・インレットホース又は当社インタークーラパイピングキット取付け車両の場合、インタークーラパイプ№2がオイルクーラエアガイド№3と干渉する場合は干渉部分にスポンジシートを貼り、直接干渉しないようにしてください。

- ・スポンジシート (P28×1)

3-6. オイルクーラホース取付け

(1) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2を
オイルクーラコアに取付けてください。(図3-6-1)

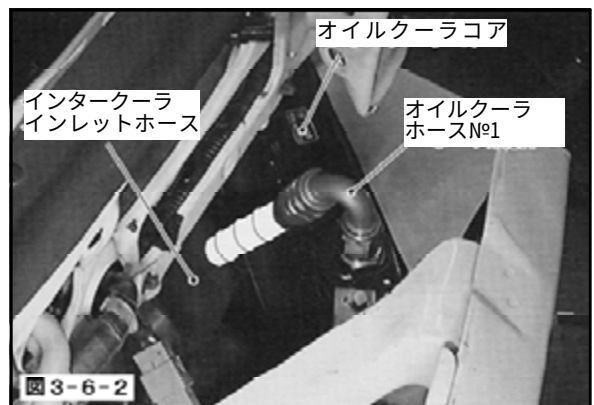
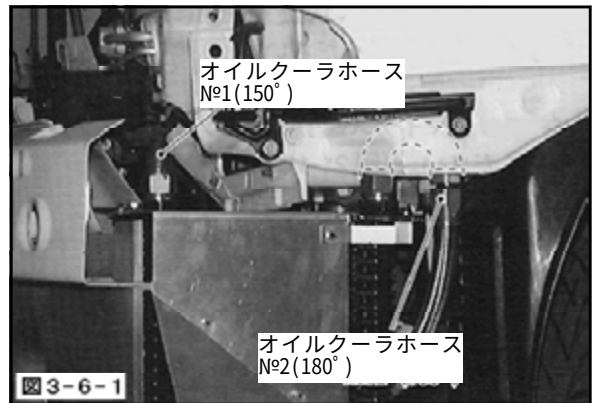
- ・ オイルクーラホース№1 (P4)
(3-2.(5)でサスペンションメンバに仮付けしたもの)
- ・ オイルクーラホース№2 (P5)
(3-2.(5)でサスペンションメンバに仮付けしたもの)

締付けトルク (N・m)

T=29.4~34.3(3.0~3.5kgf・m)

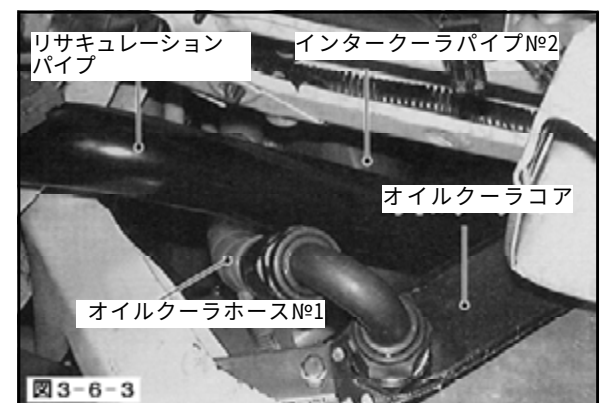
アドバイス

- ・ オイルクーラホース№1は図のようにオイルクーラ
コアとインタークーラインレットホースの間を通して
ください。(図3-6-2)



当社インタークーラパイピングキット装置車の場合

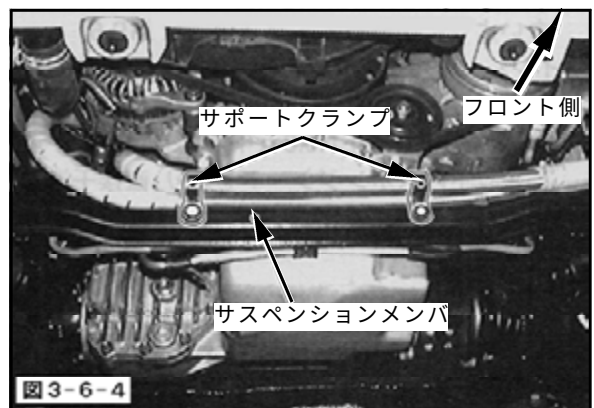
- ・ オイルクーラホース№1は、図のようにリサーキュ
レーションパイプの下を通し、ボディをインタークー
ラパイプ№2の間を通してください。(図3-6-3)



(4) 3-2.(5)で仮止めしたサポートクランプを本締めし、
オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2を
固定してください。(図3-6-4)

締付けトルク (N・m)

T=4.9~6.9(0.5~0.7kgf・m)



3-7. エンジン始動の準備

(1) オイルレベルゲージの規定範囲内に達するまでエンジンオイルを入れてください。

アドバイス

- ・ H K S 製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。

(2) バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを接続してください。(図3-7-1)

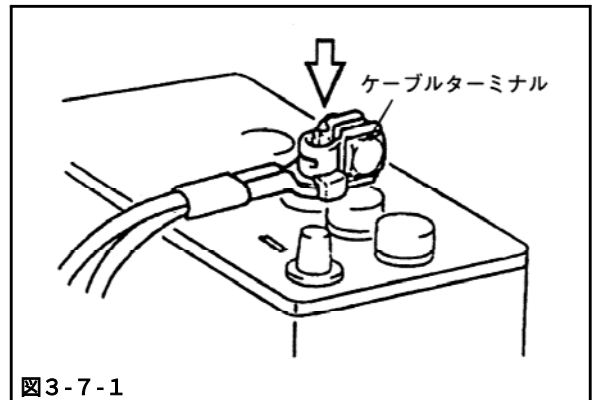


図3-7-1

4. ノーマルパーツ取付け

⚠ 注意

- エンジン停止直後は作業をしないでください。温度が高い状態で作業を行うと火傷を負う恐れがあります。

4-1. ノーマルパーツの取付け

(1) 1-2. ~ 1-8. の逆の手順で作業を行なってください。

締付けトルク (N・m) : ヘッドランプの取付け

T=4.9~6.9(0.5~0.7kgf・m)

アドバイス : バンパフェーシアの取付け

- ・ バンパレインフォースのフランジ部をバンパフェーシアの溝に入れて取付けてください。(図4-1-1)
- ・ ノーマルパーツの加工の項目で加工したスクリュがオイルクーラエアガイドに干渉する場合には、スポンジシートを干渉部分に貼って対処してください。
- ・ スポンジシート (P28×1)

締付けトルク (N・m) : ナンバープレートの取付け

T=4.9~6.9(0.5~0.7kgf・m)

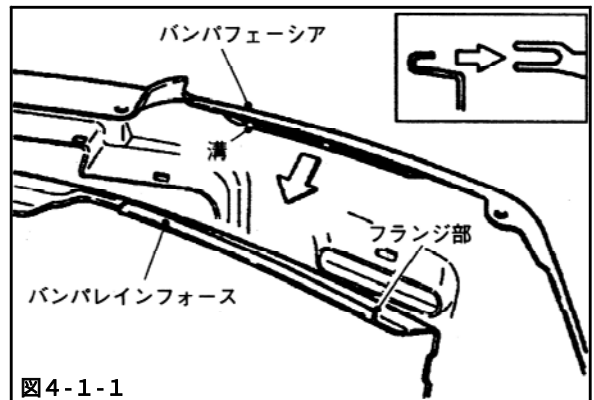


図4-1-1

※取付作業終了後、必ず本取付説明書の「5. 取付後の確認」と取扱説明書の「取付後の確認」に従って確認を行なってください。

5. 取付後の確認

エンジン始動前の確認

確 認 項 目	確 認
パイプ,ホースなどの配管がまちがっていないか。	
ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
エンジンオイルがレベルゲージのH（F）～Lの間にあるか。	
ボルト,ナット類の締め忘れがないか。	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	
オイルクーラコアがしっかり固定されているか。	
オイルクーラコアやホースからオイルもれがないか。	

エンジン始動後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。（アイドリング運転）

確 認 項 目	確 認
オイルもれがないか。	
軽く空拭かしを2、3度行ないオイルがもれていないか。	
部品による干渉音がないか。	
油圧が上昇し、オイルクーラにオイルが回っているか。	
エンジンを停止して、ネジ等がゆるんでいないか。（再度取付け部品の締付け確認）	
エンジンオイルがレベルゲージのH（F）～Lの間にあるか。	

- エンジンオイルの温度が80℃以上になるとサーモスタットが作動し、コアへ流れるオイルの量が増加します。オイルクーラコアとホース内にオイルを充分循環させた後にエンジンを停止し、オイルレベルゲージを再度確認してください。
オイルレベルが下がっている場合は規定量までオイルを補充してください。